

## 校務の見直しを図り、子供と向き合える環境整備の充実に努めましょう

県全体で多忙化解消の取組が進められ、西部教育事務所管内においても、各校で教職員の仕事に対する意識を変え、校務の「効率化」や「最適化」を図る取組が進んできています。管内の学校の取組を基に、校務の見直しを図るための改善ポイントを二つの視点でまとめました。

新年度に向けて、多忙感をもつ校務を明らかにし、具体的な改善の方針を全教職員で検討して、一人一人が「ゆとり」をもち、子供と向き合える環境整備の充実に努めましょう。

### 1 目的と優先順位を再確認し、「効率化」や「最適化」を図りましょう

勤務環境を整える上で、校務内容を量から質へ転換を図る必要があります。そのためにも、まずは各校務の目的と優先順位を再確認し、「効率化」や「最適化」の視点から、内容の見直しを図りましょう。

#### <事例1> 教育課程の編成について

- ・似たような行事があるような感じがする…
- ・他の教科で似たような内容を扱っている？
- ・～のために〇〇の時間を生み出したいが…

”西部教育事務所Webページ”に単元配列表を掲載

#### 改善ポイント

- 各行事の目的と優先順位を再確認して、精選する！
- 単元配列表などを活用して各行事や教科等の指導を関連させ、効率よく目的を達成できるようにする！
- 校時表の見直しを図る！

#### <事例2> 校内での資料等の作成について

- ・毎年作っているこの資料は必要か？
- ・一人1研究授業の学習指導案を簡略化してもよいのでは？

”西部教育事務所Webページ”に記述内容を精選した学習指導案形式と学習指導案記述例を掲載

#### 改善ポイント

- 作成が慣例になっている資料も本当に必要かどうかを全教職員で検討する！
- 内容を精選し、活用できる資料となるよう見直す！
- 指導案は、目指す授業像がより明確になるように！
  - ・自校の研修を進める上で必要な項目に絞る
  - ・箇条書きで要点を端的に伝える
  - ・板書計画を展開の代わりにする
  - ・子供との対話を具体的に想定し記述する

### 2 組織として協働する体制づくりに努めましょう

校務の見直しを図る上で、量的削減だけでなく、互いに仕事を補完し合い個の負担を軽減するという視点も重要です。役割分担を明確にして、組織として協働する体制づくりに努めましょう。

#### <事例3> 参考資料の共有について

- ・昨年度の先生はどんなプリントを使ったのかな？
- ・あの先生の掲示物を参考にしたいな……
- ・他の学校の先生はどうしているのだろう？
- ・必要な資料をすぐに見られるといいな……

#### 改善ポイント

- 互いのもっているアイデアをデータで共有できる環境を整える！
- ネットワークを利用し、他校の先生とも教科部会等の資料を共有できるようにする！
- 年間計画や分掌業務を物やデータで取り出しやすいように再整理！

#### <事例4> 職員の組織体制について

- ・学級担任の負担が重くないか？
- ・先生方の空き時間を増やせないだろうか……
- ・学校課題がたくさんあって……

#### 改善ポイント

- 休み時間や給食指導を担任外も含めた教員でローテーションで見ないようにしたらどうか！
- TT、少人数指導を教科担当制に！
- 関係機関や地域の方にも学校に入ってもらおう！

校務の「効率化」や「最適化」等を図るためには、全教職員で校務の目的や組織体制を見直し、改善策について協議する必要があります。最初は負担感があるかもしれませんが、それを行うことで、この先の仕事が大きく改善されていきます。新年度に向けて、今から校務を見直しましょう！